

2022.6.25

こんにちわ～ると

No.82

半田国際交流協会だより

令和4年度半田国際交流協会総会開催

5月7日(土)半田市福祉文化会館視聴覚室にて、令和4年度総会を無事終えることができました。議案はすべて承認されましたので、ご報告いたします。過去2年は書面開催となりましたが、本年度は記念講演も合わせ、多くの会員の皆さんにご出席いただきましたことをお礼申し上げます。

平和で健康的な社会を目指して

半田国際交流協会

会長 松石 奉之



本年度、半田国際交流協会の総会記念講演に、日本在住のウクライナ人テリーナさんをお招きし、ウクライナの伝統楽器バンドゥーラの演奏とウクライナ文化のお話を伺いました。折しもロシアによるウクライナへの侵攻中で、多くの市民や子どもたちが巻き込まれている惨事のお話は、涙なくして聞けませんでした。

現代において政治思想や宗教などの違いによる紛争が続くことには、本当に心が痛みます。私たちの活動の原点は、文化や習慣の違いを尊重し合い、共生する社会の実現を目指すところから始まっています。

新型コロナウイルス感染症が未だ収束の兆しを見せない中での戦争や、経済的損失による飢餓の危機に見舞われる国があることなどは、私たちの目指す社会の実現とは正に逆行する事態です。

現在、半田市には45カ国4359人(4月1日現在)の外国籍市民の方々が住んでいらっしゃいます。このまちに住む全ての方が、平和で健康な生活を願い、身近なところで互いを尊重することで、真の共生社会が実現できるのではないかでしょうか。Withコロナの時だからこそ、他者への思いやりを更に持ちたいものです。

本年度も半田国際交流協会に、一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

今できる最大限の活動を

半田市長

久世 孝宏



半田市内で初めて新型コロナウイルス感染者が確認されてから2年、コロナ禍の生活が長期化する中で、様々なイベントが、感染対策など工夫をしながら開催されるようになってきました。そんな中、総会後の記念講演では、すてきな演奏と心に響くお話を聞く機会を設けていただき、ありがとうございました。対面の良さを強く感じた心に残る講演でした。

先行きが見えない不透明な状況ではありながらも、前を向き、アフターコロナの体制を整えるべく、今できる最大限の活動を行うことが重要であると考えています。

コロナ禍で一時停滞してしまった姉妹都市との交流については、ゼロから再スタートするのではなく、昨年度実施したオンライン交流などを定期的に実施し、これまで以上に友好な関係を築いていけるよう取り組んでまいります。

また、コロナ禍により一時減少していた本市の外国籍市民も増加傾向にあります。国籍を問わず住みやすいまちを目指して邁進いたしますので、半田国際交流協会の皆さんをはじめ市民の方々も、お力添えくださいますようお願ひいたします。

令和4年度 役員紹介(敬称略)

名譽会長 久世 孝宏(半田市長)
会長 松石 奉之
副会長 中村 宗雄
副会長 榊原 肇
専務理事 高木 利定

理事

小栗 利朗(半田商工会議所)
榊原 明美(半田ロータリークラブ)
松林 信吾(半田南ロータリークラブ)
田中 純一(半田ライオンズクラブ)
戸嶋 一将((公社)半田青年会議所)
石川 大志(半田商工会議所青年部)
平岡 和廣(半田ジュニアプラスバンド)
稻澤 由以(半田市高等学校校長会)

村上 信彦(半田市小中学校校長会)
松井 良親(半田市スポーツ協会)
足立 岳人(ダウ・ケミカル日本(株))
榊原 正治(半田ブータン青少年交流協会)
山田 宰(半田市役所)
監事
山本 卓美(半田市副市長)
小柳 厚(半田商工会議所)



令和4年度 半田国際交流協会総会記念講演 ウクライナ民族楽器 バンドゥーラ奏者 カテリーナさんの演奏とお話

5月7日(土)、令和4年度半田国際交流協会総会記念講演「ウクライナ民族楽器 バンドゥーラ奏者 カテリーナさんの演奏とお話」を開催しました。131名の方にご来場いただきました。

最初の曲は、ウクライナの「幸せの鳥」という曲でした。



「この曲は、皆さんに幸せな気持ちを届けたいと思って、今まで1曲目に歌ってきました。『木を切らないでください、葉も切らないでください、植物を切らないでください。その花は、もしかしたら誰かのお母さんかもしれない。動物を殺さないでください、鳥を殺さないでください、その鳥はもしかしたら、あなたの最高の愛かもしれない』という歌詞で、子守歌として使われていた曲です。私にとっては現在、叫びのような歌になっています。」

ウクライナから日本に避難してきたお母さんのマリヤさんも来てくれました。

「本日はたくさんの方に来ていただき、本当にありがとうございます。私の娘カテリーナのためだけではなく、すべてのウクライナの人たちのために来ていただいたと思っています。本当に心から感謝しております。」



当日設置した募金箱には、82,800円集まりました。在日ウクライナ大使館の人道支援専用口座に寄付させていただきました。



Kateryna

カテリーナさんプロフィール

ウクライナ・プリピヤチ生まれ(チョルノーピリ原発事故から2.5km離れた町)。生後30日の時にチョルノーピリ原発事故に被災。6歳の時に、チョルノーピリ原発で被災した子どもたちで構成された音楽団「チェルボナカリーナ」に入団後、海外公演に多数参加。日本にも何度もコンサートに招聘され、その時に日本の素晴らしさに感動し、19歳の時に音楽活動の拠点を東京に移す。

65本の弦からなり、5オクターブの音域があるバンドゥーラの繊細な音色が、会場に響き渡りました。

「日本で活動して15年になりますが、戦争が起きてから音楽活動をやめたいと思っていた。心の中に怒り、叫びしかないからです。皆さんにいい歌、いい音楽をお届けすることはできないと思いました。でも、いろんな方から、音楽活動をやめないで、今だからこそウクライナの音楽やこのバンドゥーラの音色が必要だと言われました。2006年19歳の時に日本に来て、勉強して、音楽活動もできて、今は子どもも生まれて…もう安全なところで子どもの将来も大丈夫だと思っていました。しかし残念ながら、また福島原発事故が起きました。それでも日本に残って、音楽を通して、日本や他の国で原発事故が起きないように願いたいと思いました。しかし、今の戦争が起きました。自分の音楽を通して、戦争がない人生、原発がない人生、病気がない人生、災害のない人生を願いたいです。」



法人・団体会員(順不同)

【法人会員】(35社)

- 阿久比運輸(株)
- (有)イシケン
- 尾張製粉(株)
- (株)榎原
- (株)システムサポート
- (資)松華堂菓子舗
- (有)末永工務店
- ダウ・ケミカル日本(株)
- 武豊屋(株)
- (株)知多業務店
- 知多信用金庫
- 中部電力パワーグリッド(株)半田営業所
- ツカサ工業(株)
- 土平鋳工(株)

- デイサービス未来 半田
- (株)デザインセンター オワリヤ
- 東洋織布(株)
- 中埜総合印刷(株)
- 日道工業(株)
- 日本ガイシ(株) 知多事業所
- 半田港運(株)
- 半田信用金庫
- (有)半田精糧
- ビジネスホテル アズイン半田インター
- NPOヒューマンコミュニティ
- (株)ファイブスター事務所
- (株)Project K
- 文化堂写真館
- (株)マツイシ楽器店

- 松林工業(株)
- 丸佐織物(株)
- ミツカングループ
- (株)三菱UFJ銀行半田支店
- 山田自動車工業(株)
- 山田紡績(株)

【団体会員】(18団体)

- 半田商工会議所
- 半田ロータリークラブ
- 半田南ロータリークラブ
- 半田ライオンズクラブ
- (公社)半田青年会議所
- 半田市商店街連合会
- 半田市小中学校校長会

半田市PTA連絡協議会

- 半田市スポーツ協会
- (一社)半田市医師会
- 知多地域日本中国友好協会
- 知多薬剤師会
- 愛知県立半田高等学校
- 愛知県立半田東高等学校
- 半田ジュニアプラスバンド
- 日本福祉大学付属高等学校
- 半田ブータン青少年交流協会
- 国際ソロプチミスト半田

【個人会員】

222名(2022年6月1日現在)

半
田
で
く
ら
す

第二の故郷 日本



岩城 広美(ベトナム出身)

私が来日したのは 1998 年です。仕事でベトナムに駐在していた日本人と結婚し、夫の帰国のタイミングで来日しました。当初は、夫の仕事の関係で転勤することが多かったですが、2006 年からはずっと半田市に住んでいます。現在は子育てがひと段落し、フリーランスとして、ベトナム語講師や翻訳・通訳、介護・看護技能実習生をケアする仕事をしています。半田国際交流協会からの紹介で、小学校での翻訳・通訳のボランティアもしています。

若さの持つエネルギーのみで来日した私でしたが、子育てをしながら生きていくには、とても大変でした。言葉も分からぬ中、当時の日本の文化や考え方に戸惑い、何度もベトナムに戻りたいと思いました。とりわけつらかったのが、子どもを病院に連れて行ったとき、言葉の壁で思うように症状を伝えられず、不安を感じながら、ただただ子どもを抱いて泣いたことは、今でも思い出すと涙が出てきます。夫は当時、仕事で一家を支えることを第一と考える典型的な昭和の男性でした。



▲オンラインでベトナム語を教える広美さん



▲赤ちゃんを抱いて



▲幼稚園の運動会

そんな中、日本での生活に光を与えてくれたのが、優しく温かい心で寄り添ってくださった日本の方々です。ご近所さん、ボランティアの日本語教室の先生、ママ友。これらの方々の励ましや何気ない声掛けが、大きな心の支えとなり、様々な困難を乗り越えることができました。感謝してもしきれない思いです。

いろいろな方から支えられ、生活も慣れ、楽しいこともたくさんありました。ベトナムに帰るという気持ちは薄れています。最近はちょっと協力的になった夫にも感謝しています。今私にとって、日本は第二の故郷です。

日本の社会は、私が来た当初とは徐々に変わって来ていますが、やはり来日した外国人の方は、少なからず不安を覚えていると思います。そんな時、私がそうであったように、優しい言葉をかけてもらったら、少しでも心の支えになるのではないでしょうか。もっとたくさんの外国人に、日本を第二の故郷と感じてもらえたなら嬉しいです。

今年、半田国際交流協会の運営委員会「多文化共生推進委員会」に参加する機会をいただきました。国籍にとらわれず、人として社会に貢献したいということが、今の大きな関心ごとです。この活動を通して、まだ勉強中ですが、この地域にいる外国の方々を少しでも支えていければと思っています。



半田市在住の外国人は どこの国から?

半田市外国人の人口

4,505人 (昨年4,298人)

半田市的人口 118,228人

「半田市の統計表より」
(2022年6月1日現在)

・ ブラジル	(2,056)	・ 台湾	(21)	・ 英国	(3)	・ セントルシア	(1)
・ ベトナム	(828)	・ スリランカ	(17)	・ カナダ	(3)	・ タンザニア	(1)
・ 中国	(460)	・ 朝鮮	(17)	・ シリア	(2)	・ トルクメニスタン	(1)
・ フィリピン	(317)	・ 米国	(14)	・ チリ	(2)	・ ニジェール	(1)
・ 韓国	(266)	・ アルゼンチン	(13)	・ ナイジェリア	(2)	・ ニュージーランド	(1)
・ ペルー	(140)	・ カンボジア	(11)	・ モロッコ	(2)	・ フィンランド	(1)
・ インドネシア	(78)	・ トルコ	(10)	・ ルーマニア	(2)	・ ポーランド	(1)
・ ボリビア	(59)	・ パラグアイ	(7)	・ ロシア	(2)	・ モンゴル	(1)
・ ネパール	(47)	・ イラン	(6)	・ ウガンダ	(1)	・ 経過滞在	(1)
・ タイ	(35)	・ インド	(5)	・ オーストリア	(1)		
・ パキスタン	(33)	・ オーストラリア	(4)	・ サモア	(1)		
・ ミャンマー	(26)	・ ドイツ	(4)	・ スウェーデン	(1)		

今後の主な行事予定

◆広報紙作成 会報「こんにちわーるど」年4回発行

◆「にちようびのにほんごきょうしつ」
毎週日曜日 10:00～11:50

◆「こんにちわーるどフェスティバル」
11月20日(日)

新型コロナウイルス感染状況により随時対応します。

◆日本語教室 外国人書き初め体験

◆インターナショナルポップラックパーティー

高校生をミッドランド市に派遣する事業は中止となりました。



「にちようびのにほんごきょうしつ」
開催中

1月から開始した「にちようびのにほんごきょうしつ」(30回コース)には、現在46名の学習生が参加しており、計23名のボランティアの先生が交替で教えてくれています。



日本語教室ボランティア
チャンティ タイン ニヤン(ベトナム)

私は2016年に来日し、今年で6年目になりました。「日本の生活はどう、楽しい?」6年間で何回も、その質問を聞かれました。日本に来たばかりの私は、笑顔で「はい、楽しいです」と答えました。おそらく私だけじゃなく、外国人の皆さんにそういう質問をしたら100%「はい、楽しいです」と答えると思います。ですが、ちょっと考えてみてください。家族から離れて、知らない国で知らない言語で知らない人と仕事をするのは、皆さん楽しいと思いますか?絶対楽しくないですね。つらいですよ。

ここまで読んでいただいた皆さんの中には「外国人は嘘つきですね、本気で言わないですね」と思ってしまう人がいらっしゃると思いますが、それは誤解です。楽しくないのに、つらいのに、楽しいと答える理由はたった一つだけです。日本語が話せないからです。日本語が話せないから、言いたいことは言えない、伝えたいことも伝えられない。「楽しくない」とそのまま答えてしまうと、もっと誤解を招きますので、いちばん簡単にできる答えは「はい、楽しいです」。

6年間日本に住んでいる今の私は、その質問に対しての答えは変わりました。楽しいのみならず幸せです。変わった理由もたった一つだけです。言葉の壁を越えたからです。日本語が話せるようになってから人生が変わりました。知らない日本ですが、毎日自分の国と違う面白い文化に触れられ、楽しいです。知らない言語ですが、いつも優しい先生がいて、日本語を教えてくれ、嬉しいです。家族から離れていますが、最も大きい家族ができ、幸せです。

コロナの影響を乗り越えて来日した皆さん、最初は楽しくないこともつらいこともあると思いますが、心配しないで。がっかりしないで。皆さんは一人じゃないですよ。皆さんのそばに大きい家族が存在しています。大変なことも言葉の壁も、私たちがいつもここにいて皆さんと一緒に乗り越えます。



▲入門クラス担当のニヤンさん



◆学習生(6月1日現在)◆

- | | |
|-------------|------------|
| ・ベトナム人 15名 | ・アメリカ人 1名 |
| ・ブラジル人 13名 | ・イラン人 1名 |
| ・インドネシア人 4名 | ・カンボジア人 1名 |
| ・中国人 3名 | ・スリランカ人 1名 |
| ・フィリピン人 3名 | ・パラグアイ人 1名 |
| ・ペルー人 2名 | ・日本人 1名 |



日本語教室 お花見さんぽ

4月3日(日)は、日本語教室が終ったあと、希望者を募って雁宿公園に行きました。あいにくの曇り空でしたが雨にはなんとか降られず、桜もちょうど見ごろの満開で、ひとときの「お花見さんぽ」を楽しむことができました。半田市に住んでいても雁宿公園を知らない人もおり、市内の桜の名所を紹介することができてよかったです。

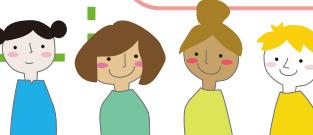


半田国際交流協会にご入会ください!

会員募集

年会費	個人会員	2,000円
	団体会員	10,000円
法人会員(1口 5,000円)		
・従業員数 1名~29名	1口以上	
・従業員数 30名~49名	2口以上	
・従業員数 50名~	4口以上	

申込先:半田国際交流協会(雁宿ホール内1階)
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992
E-mail:hia@poplar.ocn.ne.jp
HP:<http://www.handakokusai.aichi.jp>



発行/半田国際交流協会 半田市雁宿町1-22-1
TEL:0569-26-1929 FAX:0569-26-1992